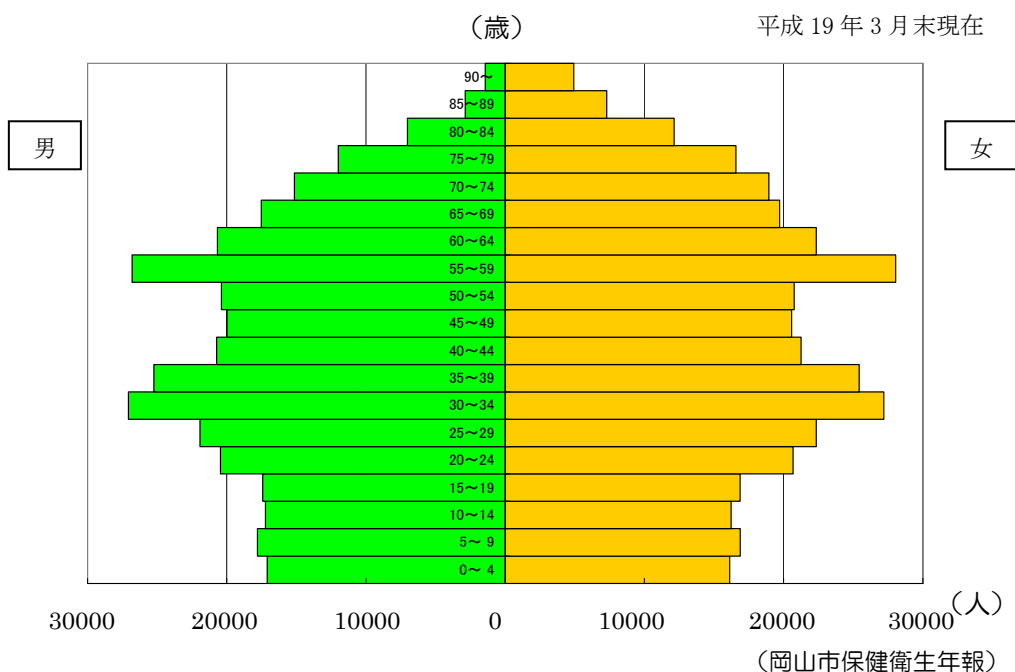


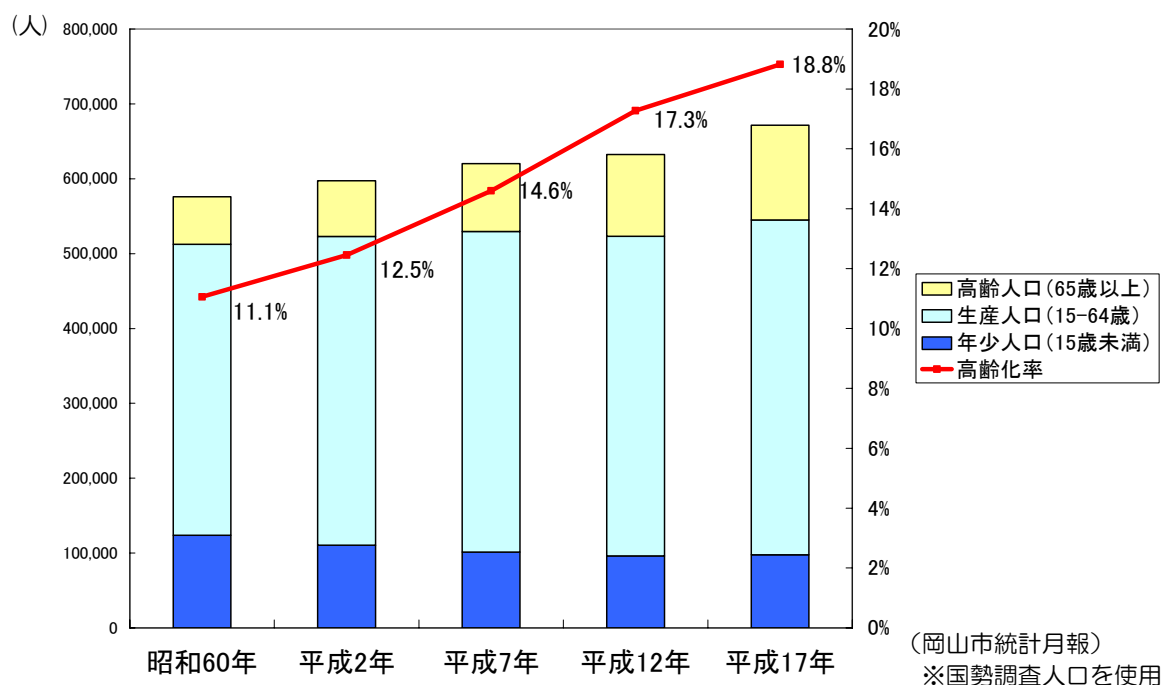
岡山市の健康状況

■統計データからみる健康状況

①男女別、年齢階級別人口ピラミッド（住民基本台帳人口（外国人除く））



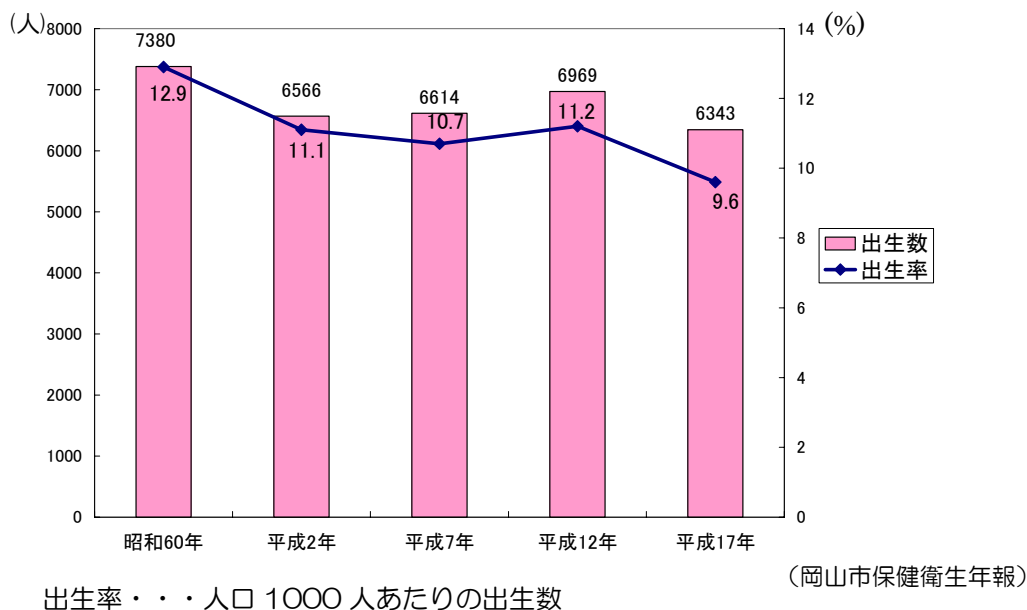
②年齢区分別人口推移、高齢化率



平成 17 年 3 月に御津町、灘崎町と、平成 19 年 1 月に建部町、瀬戸町と合併し、平成 19 年には人口が 70 万人を超えました。

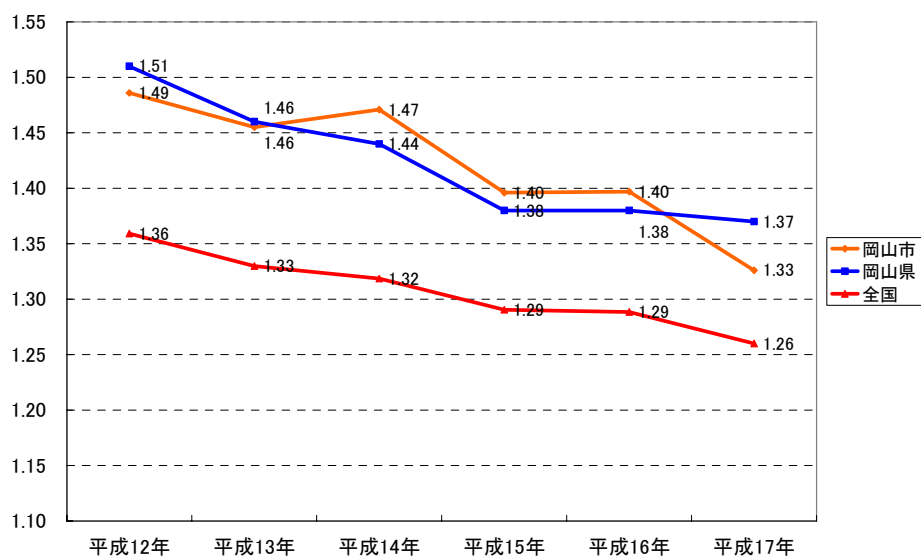
高齢化率も徐々に上昇し、平成 18 年度には 19%となりました。

③ 出生率、出生数



出生率・・・人口 1000 人あたりの出生数

④ 合計特殊出生率

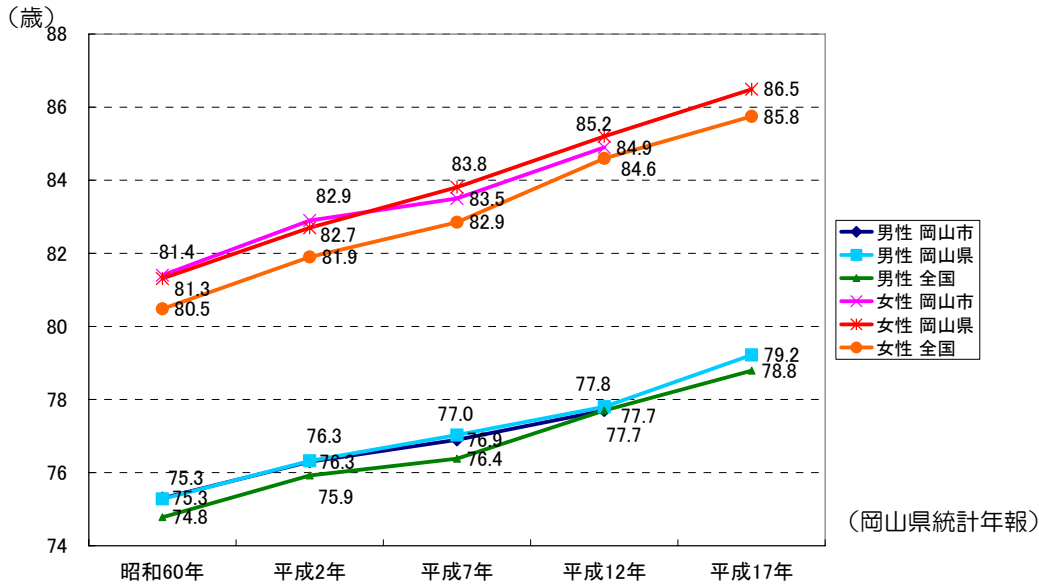


(岡山市保健衛生年報、岡山県統計年報、人口動態統計 (厚生労働省))

合計特殊出生率・・・15歳から49歳までの女性が一生の間に産むとしたときの子供の数に相当する。

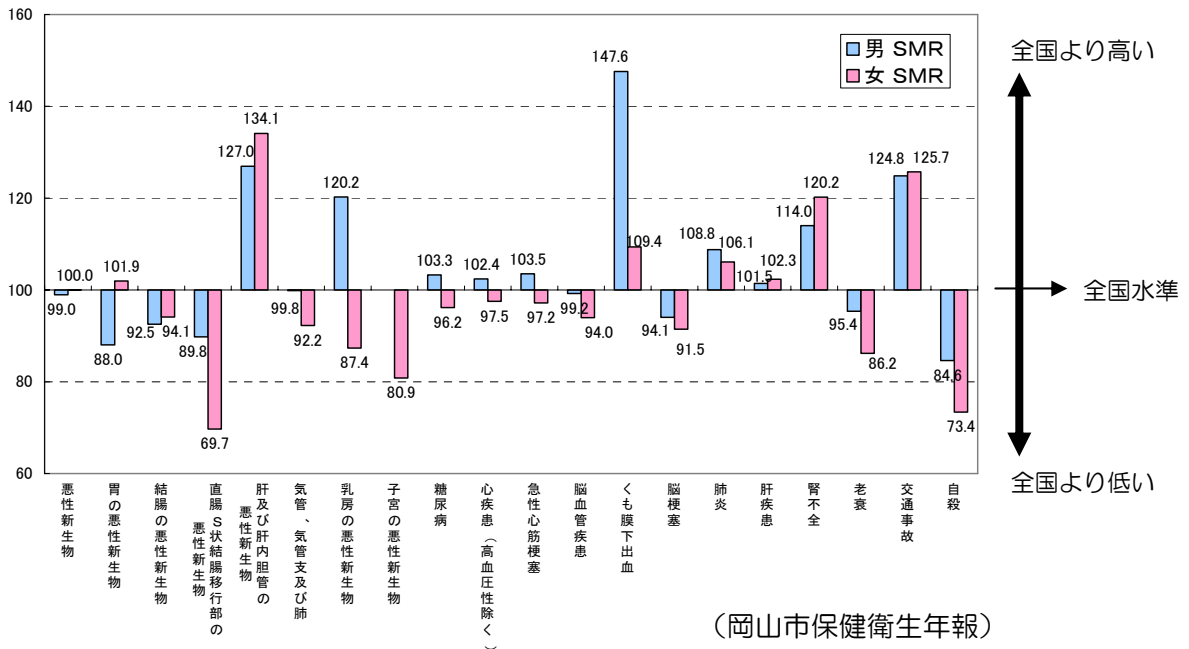
合計特殊出生率は徐々に減少し、平成17年には1.33となりました。

⑤平均寿命



女性の平均寿命は全国平均よりも高いですが、県平均よりも低いです。男性の平均寿命は全国平均、県平均とほぼ同じでした。平成17年の岡山県の平均寿命は、女性は全国4位、男性は全国11位でした。

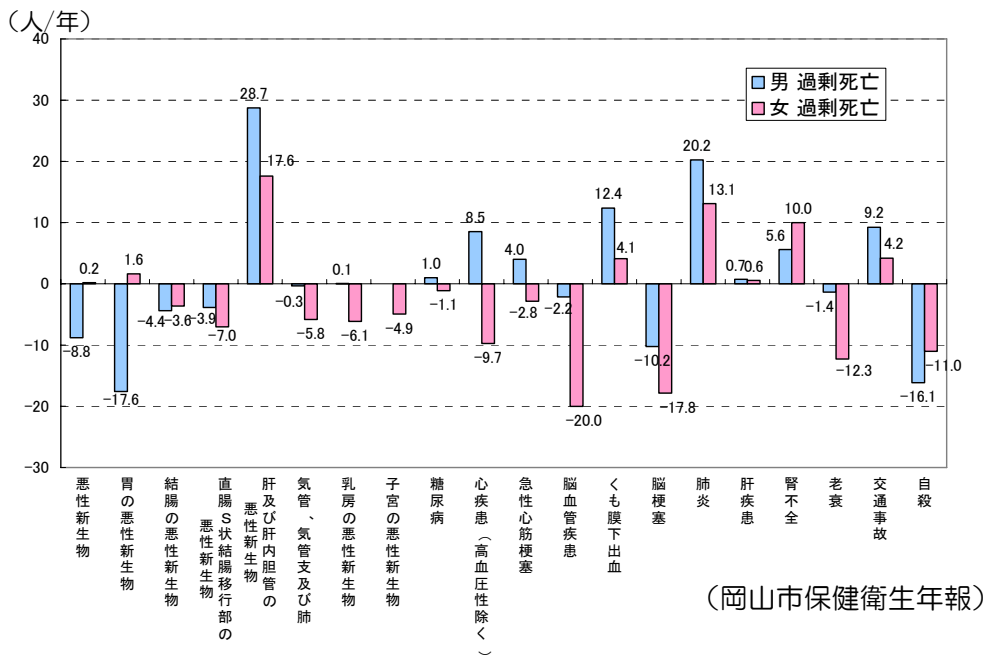
⑥標準化死亡比 (SMR) (平成13~17年)



肝および肝内胆管の悪性新生物(男女)、くも膜下出血(男性)、交通事故(男女)による死亡が全国と比較して特に高い結果でした。

SMR(標準化死亡比): 岡山市の人口で基準死亡率の死亡が発生したときの予想死亡数と死亡数との比(単位:%)

⑦過剰死亡数 (平成 13～17 年の平均)



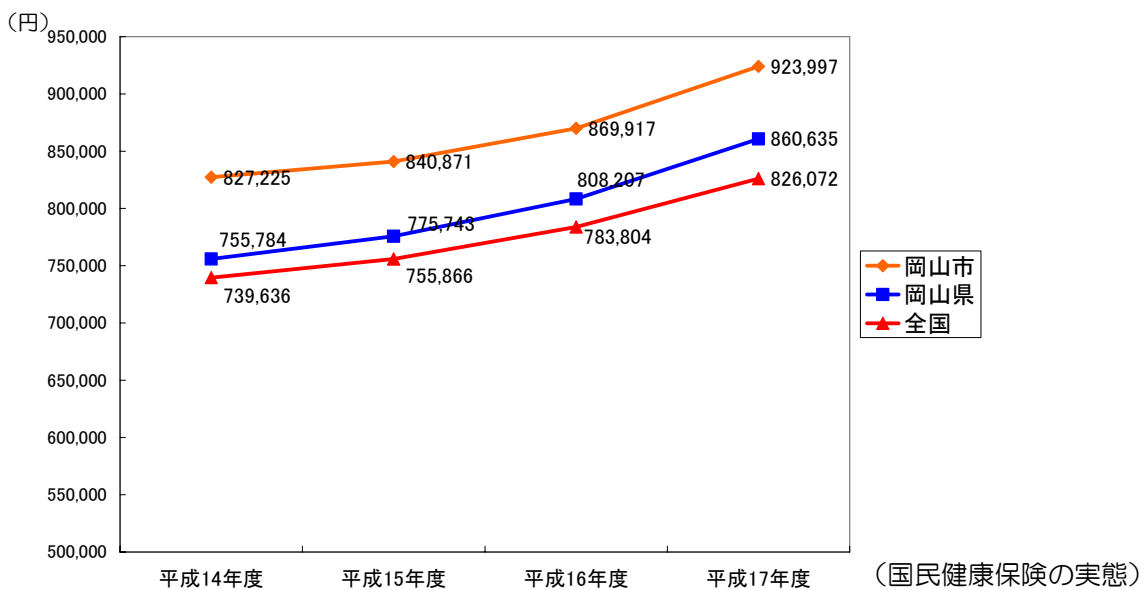
過剰死亡数(標準化死亡差): 死亡数と予想死亡数との差 (単位: 人/年)

肝および肝内胆管の悪性新生物(男女)、肺炎(男女)、くも膜下出血(男性)の疾患による過剰死亡数が特に多いという結果でした。

→肝炎対策は全国的に取り組まれています、⑥標準化死亡比と⑦過剰死亡数をあわせて考えると、岡山市でも優先課題であることがわかります。

⑧国民健康保険医療費

・一人当たり医療費(老人)



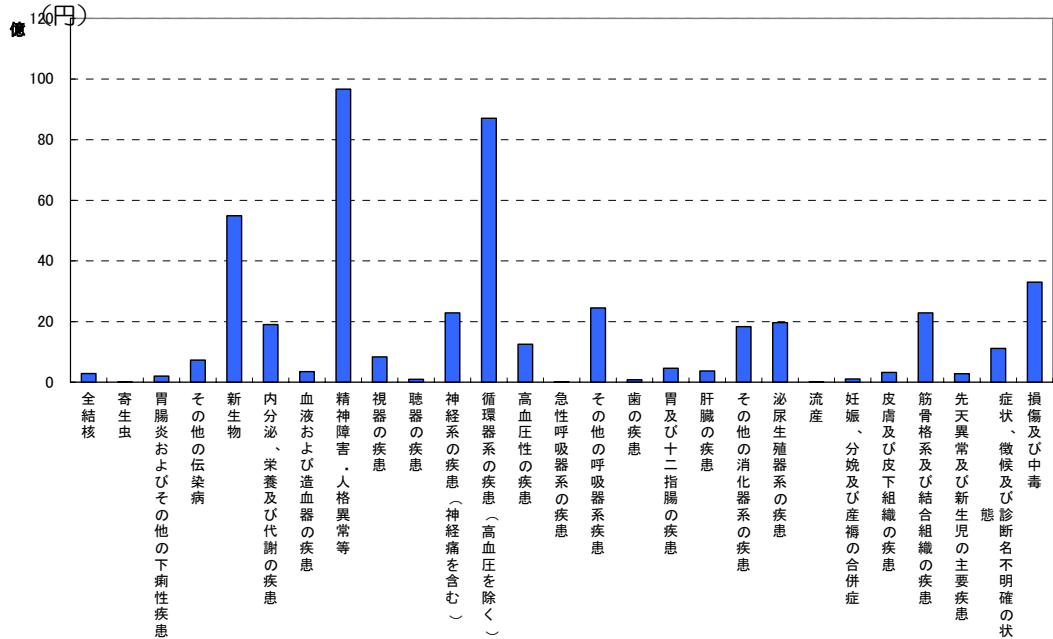
全国平均に比較して、岡山市の一人当たり医療費(老人医療分)は高額となっています。平成17年度は岡山県は全国16位/(47都道府県)、岡山市は政令指定都市と比較して8位/(17+1市)でした。

・疾患別医療費

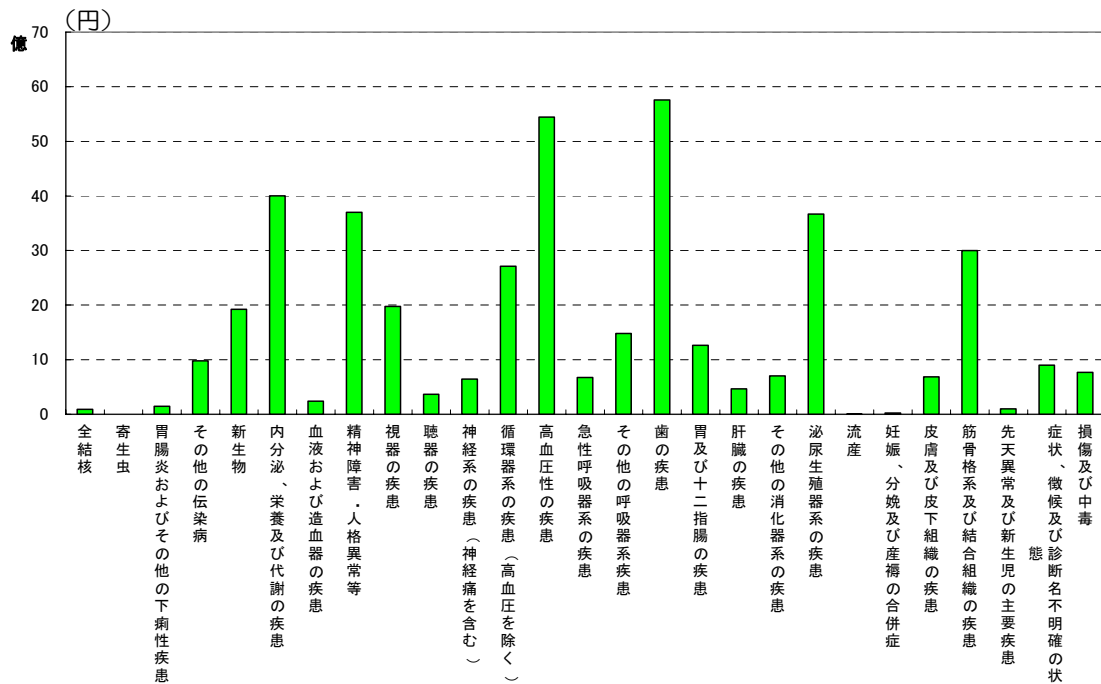
平成 18 年度分入院医療費は 1 位が「精神障害・人格異常」で 97 億円、2 位が「循環器疾患」で 87 億円でした。

平成 18 年度分外来医療費は 1 位が「歯の疾患」で 56 億円、2 位が「高血圧性疾患」で 54 億円でした。

国保医療費内訳（入院 平成 18 年度分 岡山市）



国保医療費内訳（外来 平成 18 年度分 岡山市）



（平成 18 年度 岡山県国保連 疾病分類統計表）